

学校便り

長子配布

# 東明

NO.7

令和5年9月4日  
白山市立東明小学校

つよく さとく 正しく やさしく

## 令和5年度 学校教育目標

思いやりにあふれ、ともに学び、自らを高める元気な子の育成

### ◆ 前期学校評価の結果をお知らせします ◆

6月にご協力いただきました学校評価アンケート（保護者・児童）の結果がまとまりましたので、ご報告します。学校評価を、今後の教育活動に活かしてまいります。

♪ **保護者アンケート** 〔%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。〕

質問項目	R5 前期	R5 後期
① 学校の様々な機会や各種便り・HPで、教育方針や学校の様子がよくわかる	91%	
② お子さんは、学校に楽しく通っている	93%	
③ お子さんは、授業は分かりやすいと思っている	92%	
④ 保護者は、お子さんによいところを伝えている	92%	
⑤ お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている	91%	
⑥ お子さんは、お家でお手伝いをしている	70%	

肯定的評価が90%を超えている項目が6項目中5項目あり、概ね良好であると言えます。⑥「お手伝いをしている」については70%と低い値となりましたが、児童アンケートの「学校や人のために働いている」では92%と高い値でした。この結果から、学校での役割を主体的にする姿が、家庭の姿と結びついていないことがわかります。児童会活動や学級活動で学んだことを、生活にどう生かしたかなどを問い、意識させることで学校生活と家庭生活がつながるようにしていきます。また、ご家庭でもお手伝いなどの役割をあたえ、家族の一員としての自覚を持たせていただけたらと思います。

②「お子さんは、学校に楽しく通っている」、児童アンケート①「学校は楽しいですか」についてはおよそ1割の保護者、児童が否定的評価となっています。楽しさを感じない要因は様々あり、1つの取り組みでは改善されません。学校は「わかる授業をする」「ほめて伸ばす」「ひとりひとりが活躍できる場を設定する」「安心して生活できる場にする」等の取り組みを通して、どの子にとっても楽しい学校を目指していきます。

また、自由記述でいただきましたご意見やご質問について、うれしい言葉をたくさんいただきありがとうございました。主なご意見を裏面に載せました。また、改善すべき点につきましては、今後取り組みを考え早急に対応していきます。

（裏面に続く）

### 保護者アンケートの自由記述一部抜粋

- ・担任の先生が寄り添って接してくれているのが、子どもとの会話から伝わってきます。何かあれば柔軟に迅速に対応していただき、親も子も安心しています。
  - ・久しぶりの参観は沢山の親御さんがきていて子供たちもそわそわ嬉しそうにしているのが伝わりました!活気もあって授業参観見に行けてよかったです!六年生の授業は皆が集中して聞いていてすごいなーと思いました。
  - ・6年生が色々教えてくれ、お世話してくれるようで素敵だなと思います。子どもも6年生が教えてくれるって言っていました。年上のお兄さん、お姉さんに関わる機会が少ない子なので、馴染める体制があり嬉しく思っています。
- コロナ禍でたてわり活動を制限してきましたが、これからは子ども同士がつながる活動を増やしていきます。
- ・欠席連絡が電子化され本当に助かります。
  - ・以前のようにホームページで毎月の行事予定のページを載せて頂けるとありがたいです。
- ホームページの更新が滞っておりました。申し訳ありません。定期的に学校だより・月予定など更新していきます。

### ♪ 児童アンケート 〔%は、肯定的評価（Aよく当てはまる・Bやや当てはまる）です。〕

質問項目	R5 前期	R5 後期
① 学校は楽しいですか。	88%	
② 授業はわかりやすいですか。	89%	
③ 課題に対して、自分の考えをもっていますか。	82%	
④ 授業で自分の考えを伝えていますか。	75%	
⑤ 自分にはよいところはありますか。	81%	
⑥ いじめられたり、むじまれたりすることなく安心してすごしていますか。	86%	
⑦ 委員会やたてわり活動、係活動などで、学校や人のために働いていますか。	92%	
⑧ 体力をつけるために、体育の時間やその他の時間に体をよく動かしていますか。	89%	

学習について②「授業がわかりやすい」は肯定的評価が89%となっており、学びに対する意識が高いことがわかります。しかし、③「自分の考えをもつ」④「自分の考えを伝える」といった学びの活用を苦手としている子が多いようです。授業では多様な考えを出し合い、そこから共通点を考えたり、比較して考えたり、不十分な考えを補ったりしながら学んでいます。また、ペアやグループの話し合いの場を設け、一人ひとりの発言量を増やします。

⑤「自分によいところはある」の項目では、自分に自信が持てない子がおよそ2割いることがわかります。自己肯定感が高いと物事を前向きに捉え、積極的に行動し、他者の意見や考えを素直に受け入れることができます。自己肯定感を高めるために、これまで以上に一人一人の子どもたちに寄り添い、思いを受け止めていきます。ご家庭でも毎日子どもの話を聞き、がんばったことを認め、たくさんほめてあげてください。